

第3回

グリーンリカバリー戦略で気候危機に立ち向かう
この8年が未来への分岐点

脱成長経済と社会的連帯で 気候危機に立ち向かう



12/12 (土) 18:30~20:00 18:15 接続開始

緑の党グリーンズジャパンは「経済至上主義からの脱却」「永遠の経済成長は不可能」という立場を表明してきました。齋藤幸平さんは、新著の「人新世の『資本論』」で、「気候危機、コロナ禍・・・文明崩壊の危機。唯一の解決策は潤沢な脱成長経済だ」と提言しています。

気候危機とコロナ危機の中で、経済成長主義からの転換が求められています。そのためには何が問われているのか、齋藤さんの講演を受けて、大いに議論します。ぜひ参加を！

齋藤幸平さん

■プロフィール 1987年生まれ、大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。専門は経済思想、社会思想。『大洪水の前に』によって、「ドイッチャー記念賞」を歴代最年少で受賞。同書は世界5か国で刊行。編著に『未来への大分岐』など。9月に発売された「人新世の『資本論』」は2か月で6万部を突破するベストセラーに

Zoom ウェビナー

- ・要事前申込
- ・定員 500人



- ・参加費無料
- ←カンパ歓迎

■■ 「人新世の『資本論』」(集英社新書) より ■■

近代化による経済成長は豊かな生活を約束していたはずだった。

・・・皮肉なことに、まさに経済成長が、人類繁栄の基盤を切り崩しつつある

気候危機の原因にまでさかのぼる必要がある。

その原因の鍵を握るのが、資本主義にほかならない

グリーンニューディールが本当に目指すべきは、破局につながる経済成長ではなく、経済のスケールダウンとスローダウンなのである

「自治管理」や「共同管理」こそ、

本書が重視する〈コモン〉にとってのキーワードなのである。

3.5%の人々が非暴力的な方法で、本気で立ち上がると、社会が大きく変わる・・・

大胆な抗議活動は、社会に大きなインパクトをもたらし・・・

デモは数万～数十万人・・・SNSの動画は数百万回拡散・・・

そうなると、選挙では、数百万票になる。

これぞ変革の道である。

地球ひとつで生きる

緑の党
グリーンズジャパン

これらのグラフからだけでも、産業革命以降の人類の経済活動が地球システムへの負荷を増やしていることは一目瞭然だ。特に、第二次世界大戦後の経済活動の急成長とそれに伴う環境負荷の飛躍的増大は「大加速時代」と呼ばれる。……こんな時代が、持続可能なはずがない。

(「人新世の『資本論』」24Pより)

図4 大加速時代における人間活動と地球システム

